

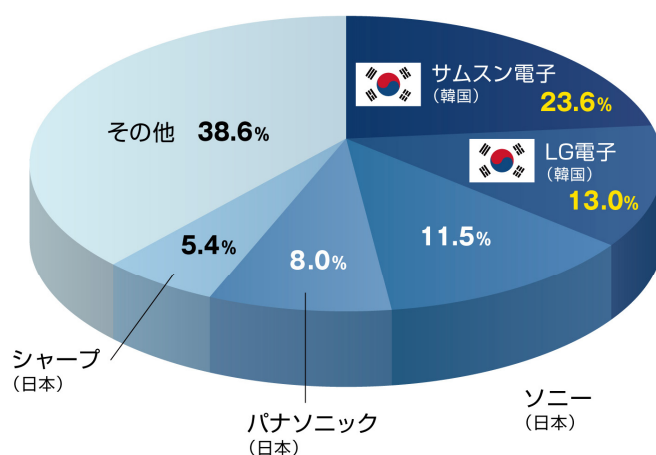
新興国で活躍する韓国企業の増益続く

韓国企業の多くが好調な業績を上げています。韓国証券取引所が集計した上場企業全体の2010年第1四半期（1-3月）の営業利益は、前年の同じ時期に比べて、約2.4倍となりました（前年と比較可能な企業が対象）。個人消費が回復基調にあることから、国内での売上げの比率が高い内需関連企業で増益となった企業が出てきたほか、半導体や鉄鋼といった輸出企業が引き続き好調なことも目立ちます。

韓国企業は、日本などに比べて国内の市場規模が小さく、成長に制約があるため、高い経済成長を見込んで新興国に進出するという戦略を早くから採用してきました。その結果、世界の景気回復をけん引する新興国の成長は、韓国の企業業績にプラスに働いています。

昨年、売上高で世界最大の電機メーカーとなったサムスン電子は、新興国での液晶テレビなどの販売が好調なため、売上げを伸ばしています（会計基準を変更したため、上記の韓国証券取引所の集計には含まれません）。サムスンはさらなる成長を目指し、2010年に設備投資と研究開発費を過去最大規模とすることを発表しました。新興国の経済成長が、別の新興国の成長につながることで、隣国の韓国から見てとることができます。

世界のテレビ出荷実績（2009年第4四半期）



出所：DisplaySearch Quarterly Global TV Shipment and Forecasts Report

韓国ウォンの為替レートをウェブサイト「グローバルマップ」でチェック www.gsam.co.jpGoldman
SachsAsset
Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、(I) 複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、(II) 弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。

© Copyright 2010, The Goldman Sachs Group, Inc. All rights reserved. <審査番号: TK10060057>